
 記 事

◎第6回理事会(昭.29.10.7) 出席者:青木会長,菊池副会長,兼重,飯田,中路,最上,後藤,星塾,片平,篠原の各理事,中川書記長,朝倉,棒箸,堀内の各主任,議事:1)9月中の行事その他報告,2)40周年記念式典及び午餐会の招待先について,3)同上懇親会の招待先について,4)祝辞依頼について,5)式典当日土木工事写真集の贈呈先について,6)記念品について,7)午餐会及び懇親会の内容について,8)ハンドブックの定価改定は委員会に一任の事,9)会員入退会その他。

◎各種委員会

1. 編集委員会(昭.29.10.22) 出席者:最上,後藤正副委員長,矢野関西地方委員,山内君(関西),丸安,西畑,小松原,吉川(代),久保,三木,斎藤,山本各委員,中川書記長,岡本編集部員。協議事項:1)会誌および論文集進捗状況,2)投稿論文および新規受付論文審査委員の決定,3)依頼原稿について,4)学術会議の現状について矢野氏より報告があつた。5)40巻1号登載論文を次のとおり予定した。

エカッフエ鉄道部会について:中路誠三,岩垣雄一・岩佐義朗:転波列の水理学的特性について,後藤尚男:橋脚地盤の基礎係数値とその橋脚の振動性状に及ぼす影響について,伊藤和幸:重力堰堤コンクリート打設計画とその工期の妥当性に関する統計的考察,村幸雄・荒木正夫:堰堤放水管の設計法に関する一考察,清水修吉:プレバクトコンクリートをトンネルの漏水どめに用いた特殊施工について。

2. 学会誌抄録委員会(昭.29.10.11) 出席者:左合委員長,樋口,松本,渡辺(隆),平嶋,梅田各委員,千秋幹事。議事:1)39巻11号登載として5編を予定する(割当5ページ),2)繰越8編,新規7編について協議,3)その他。

3. 編集小委員会(昭.29.10.11) 出席者:後藤副委員長,丸安,林岡担当委員,岡本編集部員。協議事項:39巻11号会誌編集につき最終的打合せを行った。ニュース取材方針について,その他,64ページの予定。

4. 第16回コンクリート鉄道構造物委員会(昭.29.10.8) 出席者:吉田委員長,沼田,高橋の各委員,山内,白石,杉木,池原,横山,田村,川口の各幹事。議事:1)13条雪荷重から15条土圧まで審議,第17回同委員会(昭.29.10.21) 出席者:吉田委員長,沼田,高橋,岡本,丸安,友永の各委員,山内,和仁,白石,杉木,横山,深谷,田村,川口の各幹事,議事:

15条及び16条を審議。

5. 第26回プレストレストコンクリート委員会(昭.29.10.8) 出席者:吉田委員長,沼田,近藤,国分,田原,山田,山崎(代宮崎),猪股,宮崎,齋島,海上(代白木),渡辺(代木村),村田,友永,菅原,田村,川口の各委員,議事:8条PC鋼線から14条品質試験まで逐条審議,第27回同委員会(昭.29.10.21) 出席者:吉田委員長,沼田,岡本,山田,川崎,伊東,猪股,渡辺(代木村),山崎,友永,三浦,菅原,深谷,田村,川口,議事:15条~23条を逐条審議。

6. 土木工学論文抄録委員会(昭.29.10.12) 出席者:本間委員長,三木,渡辺,嶋,樋口,伊丹,西畑(代),篠原,千秋,岩塚,徳平,左合,谷藤,西村,和仁(代),伊地知(代),池原,田村,松本の各委員,平嶋,西脇両幹事,中川書記長,議事:1)学会誌及び論文集集中の論文で著者から提出なきものは各担当委員に一任,2)幹事の手元に集まつたものは部門別に分類して各委員に送り,委員は目録と対照して欠除しているものを補うこと,3)委員は11月末までに分類の上学会へ届けること,4)目録にあつても抄録してないものはその必要を認めないものとみなして処理すること,5)一括一任された雑誌中に他部門の論文があつた場合は原稿用紙に書出して10月中に学会またはその部門の担当委員に回付すること,6)関連部門は特に必要と認めた場合のみ記入すること,7)各部門分類中配列順序は発表年月順とする,8)その他。

7. 土木工学ハンドブック編集委員会(昭.29.10.13) 出席者:福田委員長,成瀬,山本,清水,松井,松村,高木,友永(代西村),市浦(代),木村(代)の各委員,丸安幹事長,嶋幹事,中川書記長,議事:1)土木工学ハンドブックがいよいよ本月中に発刊の運びとなつたが,別表(略)のとおり最初の予定ページ数1600が2206ページとなつたので定価改訂方出版社から申出があつたので種々協議の結果下記原案を了承

	旧定価	新定価
クロース製	2800円	3200円
革製	3300円	3700円

2)印税について,3)源泉所得税の関係があるので主査は執筆委員各個人に配分する額を決定すること,4)各主査において調査の上正誤表を10月20日までに出して貰うこと。

8. 40周年記念行事幹事会(昭.29.10.14) 出席者:片平幹事長,荒木,今井,大塚,田中,徳平,藤原の

各幹事、中川書記長、朝倉、椿箸、堀内、平田の各書記、議事：1) 幹事任務分担の決定、2) 式典会場、受付の区別、控室、講演会場、その他の打合せ、3) 祝詞の順序の決定、4) 前会長、名誉員は懇親会に招待しないが当日勧誘する。5) 各委員会及び分科委員は全部招待すること、6) 招待新聞社は8社とする、7) 献立について、8) 自動車の手配、徽章その他について。

9. 土木工事写真集委員会(昭.29.10.22) 出席者：青木会長、米田委員長、木村(代)、小池(代)、田中、岩井(代)、高野(代)、片平(代)、高谷、五十嵐(代)、田村、清野(代)、高坂、金谷、林(鋼)の各委員、小林、高橋、金屋敷の各幹事、中川書記長、朝倉、椿箸、堀内の各主任、議事：青木会長から委員長以下各委員及び幹事諸氏の御尽力によりここに土木工事写真集を発刊することを得たと感謝のことばを述べ、ついで米田委員長から各委員及び幹事の絶大な努力によると喜びの挨拶があつて、写真集の編集の苦心談等に花を咲かせ食事をともにし和やかな気分のうちに散会した。

10. 第5回記念行事委員会(昭.29.10.25) 出席者：青木会長、藤井委員長、浅野、上野(代叶)、後藤、小林、篠原、立花、平嶋、屋埜、田中、今井、大塚、高野、徳平、八木田の各委員及び幹事、中川書記長、朝倉、椿箸、堀内の各主任、議事：1) 前回幹事会報告 2) 記念式典その他行事申込者数報告、記念式典(招待者以外約70名)、祝賀午餐会(215名)、会員懇親会(162名)、見学会(99名)、3) 予定以外の祝辞の取扱いについて、4) 式次第について、5) 午餐会のテーブルスピーチについて、6) その他。

◎その他

1. 日本学術会議第18回総会が昭.29.10.19~21の3日間開催された。

2. 第7回日本工学会大会準備会を昭.29.10.7及び21日に開催し、明後昭和31年に開催する工学会大会の準備について打合せを行った。

3. 水道協会では昭.29.10.21~22の両日、名古屋市で第5回上下水道研究発表会を開催して非常に盛会であつた。

おことわり：40周年記念式典、その他行事に関する記事は12月号の記念号に登載することとした。

支部だより

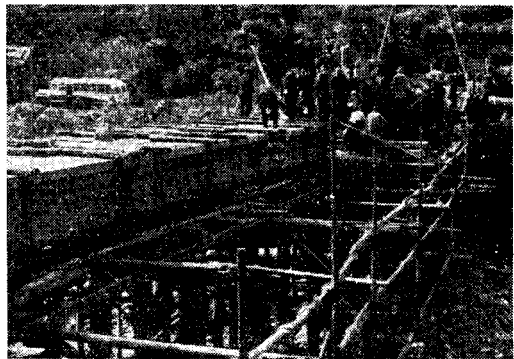
1. 北海道支部 第2回見学会(昭.29.10.2~3) 2日十勝池田駅を8.30バス2台に分乗して出発し、本別町開成橋工事を見学し、続いて足寄発電所工事、活込ダム工事を見て12.30糠平につく、昼食後総合説明

の後4班に分れ、3時間にわたつて糠平電源開発工事を見学す。18.30に十勝川温泉に到着一同広間に会し晩さんをともし大いに会員の親睦をはかり、翌3日は蓬来橋工事を見学し、帯広駅にて解散。技術資料第8号を10月初旬発行した。

2. 東北支部 第3回見学会(昭.29.10.23,24)：山形県月山沢PSコンクリート橋、八久和発電所及び荒沢ダム工事の見学会を行った。山形駅前午前11時発、バス2台に分乗し月山沢橋へ向い、ポストテンション方式によるフレシネージャッキ締付状況を視察、八久和発電所工事は車窓より見学し、5時荒沢ダムに到着、視察の後、湯ノ浜温泉に一泊して解散した。参加者83名で盛況であつた。

写真—1 月山沢橋工事現場

(プレストレスを導入中のところ)



3. 中部支部 第4回幹事会(昭.29.8.3) 出席者：竹重幹事長外各幹事21名、議事：1) 8月中行事について、2) 9月中行事について、3) 10月中行事について。映画会(昭.29.8.13) 8月中行事として名古屋駅前商工館ホールにおいて会員200名の参加を得て“佐久間ダム”の映写会が行われ、引続き次の講演が行われた。

トンネルについて

KK熊谷組 加納 俊二

ボリスコンクリートについて

日曹商事 大塚 良平

第5回幹事会(昭.29.9.7) 出席者：竹重幹事長外幹事23名、議事：1) 9月行事について、2) 10月行事について、3) 11月行事について、第3回講演会(昭.29.10.2) 名古屋市愛知県農林会館において70名の参加者を得て行われ次の講演があり、終つて大林支部長の司会により『木曾川を解剖する』と題し公開座談会を開催した。

木曾川一般論について

中部地建局長 立神 弘洋

木曾川の総合開発について

企画部長 奥田 秋夫

木曾川の改修工事について

木曾川上流
工事事務所長 小西 則良

木曾川と水力発電について

関西電力技術部長 竹中 徳

木曾川の用水と愛知用水について

農林省木曾川水系総合農業
水利調査事務所調査課長 高木 正夫

4. 関西支部 29年度秋季學術講演会(昭.29.10.16)
聴講者 160 名を得て大阪大学工学部で開催し、35 名の講師よりそれぞれ講演が行われた。

5. 西部支部 第 8 回幹事会(昭.29.10.2) 出席者: 田代幹事長, 武田, 下津, 天方, 乙藤, 鍋山, 上田, 和田, 石川(代)の各幹事外古江, 柳川, 下川の 3 君, 議事: 1) 伊之浦橋見学会を 10 月 29 日開催予定, 2) 上樞葉水力発電所ダム見学会, 3) 夏期講習会会計報告, 4) 寄附金納入状況及び雑件。 第 9 回幹事会

(昭.29.10.29) 出席者: 田代幹事長, 武田, 下津, 天方, 和田, 下川(代乙藤)の各幹事, 柳川君, 議事): 1) 上樞葉アーチダム見学会を 11 月 26 日行うこと, 2), 講演会と映写会を 11 月中に臨時開催する。見学会(昭.29.10.29): 佐世保線 早岐駅前に午後 1 時集合, バスに分乗後現場に向い, 伊之浦橋工事を詳細に見学したのち, 午後 4 時 30 分散散した。参加人員 250 名で非常な盛会であった。

土木学会創立 40 周年記念号について

学会創立 40 周年を記念して、10 月 27 日虎の門共済会館における記念式典, 同 28, 29 日佐久間ダム見学会, 土木工学ハンドブック, 土木工事写真集の出版等, 各種行事をとどこほりなく終了することができましたことを御報告いたしますとともに、ここに会員各位の御協力に対し厚く御礼申上げる次第です。

編集部ではこれを記念して 12 月号を創立 40 周年記念号とし、半年余の間、種々の企画を練つておりましたが、約 300 ページにわたる特別大增頁を断行し、記念式典報告, 土木学会略史, 記念講演, シンポジウム(現下の土木工学界全般にわたり項目別に分け、その現状と将来について略述したもの)、祝賀広告等を掲載することとなりました。12 月中旬を期して発行される本記念号に御期待の上、今後とも皆様の一層の御指導、御鞭撻をお願い申上げる次第です。(編集部)

昭和 29 年 10 月分入退会報告 (29.10.1~10.31 現在)

1. 入会	60 名(特 3 級 1, 正 5, 准 13, 学生 41)
2. 退会	31 名(正 11, 准 19, 学生 1)
3. 転格	9 名(准より正 1, 学生より准 8)

会員現在数 (29.10.31 現在)

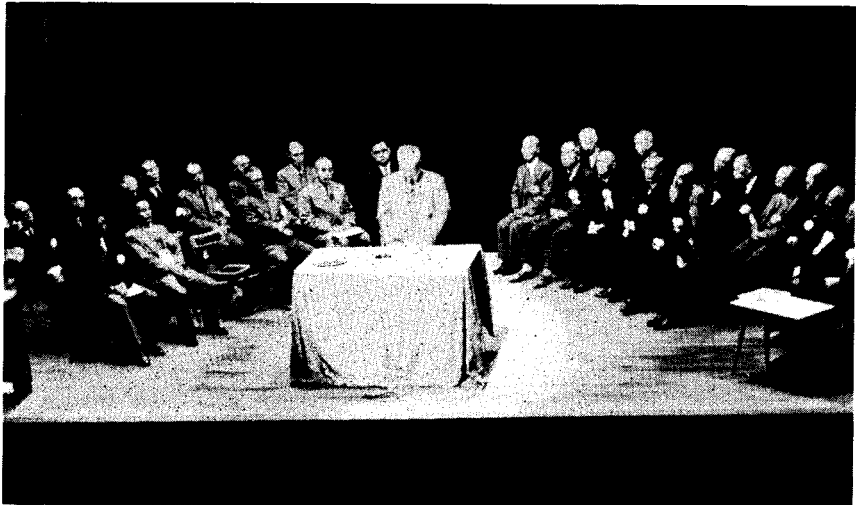
名譽員	賛助員	特別員	1 級	2 級	3 級	正員	准員	学生員	合計	増加数
22	16	33	75	150	5 279	6 075	1 478	13 128	29	

昭和 29 年 11 月 10 日 印刷	土木学会誌	定価 100 円
昭和 29 年 11 月 15 日 発行	第 39 卷 第 11 号	
編集兼発行者	東京都千代田区大手町 2 丁目 4 番地	中川 一 美
印刷者	東京都港区赤坂溜池 5 番地	大沼 正 吉
印刷所	東京都港区赤坂溜池 5 番地	株式会社 技報 堂
東京中央郵便局区内	千代田区大手町 2 丁目 4 番地	電話和田倉 (20) 3945 番
発行所 株式会社	土木学会	振替東京 16828 番

写真一 記念式典における青木会長の挨拶



写真二 記念式典における石井運輸大臣の祝辞



写真三 祝賀午餐会場（立てるは那波名誉員）





写真-4 国鉄飯田線付替工事，大原
トンネル坑外設備を見学する一行

写真-5 佐久間ダム建設現場，ダム
地点における記念撮影

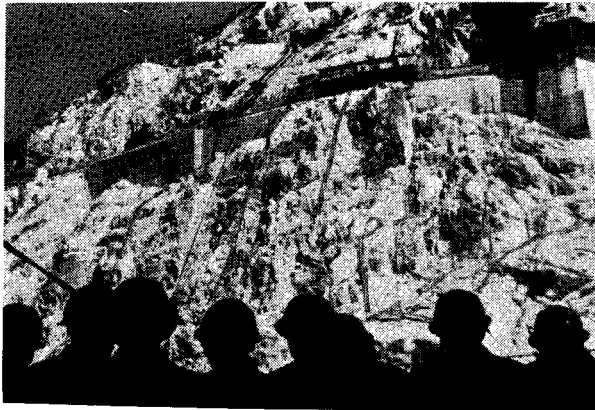


写真-6 佐久間ダム建設現場，ダム
建設施設を見学する一行

写真-7 佐久間発電所建設現場を見
学する一行

